学校番号	３００１

令和８年度　農業科（環境緑化科）

教科	農業	科目	造園施工管理	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	造園施工管理						
副教材等	造園施工必携　（日本造園組合連合会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本科目の目標は造園の基本的な施工技術である「飛石工」「竹垣工」「縁石工」や「支柱工」などを学ぶことと造園の基本的な管理技術である樹木の管理「移植法」「根巻き法」や「支柱工」などを学ぶことです。

基本的な施工技術を使い、学校の庭園に竹垣・縁石等の作品を製作しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
幅広く造園の基礎的な知識や技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
造園の伝統的な技法に触れることで、より一層職業意識を高め、基本的な造園技術を身に付けた造園技術者を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
庭園作製について関心を持ち、その課題についての改善・向上を目指して主体的に取り組んでいる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実際の施工を通して、造園現場で幅広く使われる材料の特性や性質を理解し、施工に適した材料や道具を選択し活用する知識・技術を習得している。	習得した知識をもとに、施工する竹垣、植栽、添景物に適した材料や安全に配慮した施工・管理方法を考え、実践している。 安全に気を付けて効率的に作業に取り組んでいる。	庭園作製について関心を持ち、その課題についての改善・向上を目指して主体的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	資格取得2級3級造園施工実習	厚生労働省検定受検者・未受検者で指導内容を変更する 「2 級造園技能士」の受検者班 2 級造園技能士の検定内容 「3 級造園技能士」の受検者班 3 級造園技能士の検定内容 未受検者の実習班 実習庭園に竹垣・飛石などを現場施工する	a:庭作りに必要な道具の種類と方法について理解している。 床掘りから植え付けまでの作業手順や方法を理解している。 b:竹垣、飛び石などの利用目的に合う適切な道具を見分け、適切に利用する事ができる。 寸法や仕上がりの美しさを考慮し据え付けることができる。 c:造園施工に関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	実習成果 ノート	実習成果 ノート	学習状況 自己評価
2・3	造園施工実習	全員４班 練習した基礎的な施工技術を使用し庭園に竹垣を現場施工する。	a:庭園管理に必要な道具、資材の特性を理解し、適切な管理方法を理解し実践できる。 b:庭園作成に利用される植栽を観察し、時期や状態によって必要な管理をおこなうことができる。 c:校内の庭園の維持管理について関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	実習成果 ノート	実習成果 ノート	学習状況 自己評価
1〜3	座学（1単位）造園施工・管理	「水景工」 「植栽工」 「延段工」 「添景物の施工」 「コンクリート工」 「道具の手入れ、管理」	a: 造園施工管理について体系的、系統的に理解するとともに、関連する知識、技術を身に付けようとしている。 b: 造園施工管理に関する諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 造園施工管理について目的や環境に応じた合理的な施工と維持管理につながるよう自ら学び、意欲的に学習に取組もうとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	学習状況 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度